

## 第18回 総合防犯設備士資格認定試験問題

### A問題解答例

**問題－１ （セキュリティについて） 解答例**

①	ポリシー、Policy、組織としてのセキュリティ基本方針
②	スタンダード、Standard、具体的な指針としての標準と規程
③	プロシージャ、Procedures、実施のための具体的手順

**問題－２ （セキュリティについて） 解答例**

①	専門知識
②	総合的（多角的）判断力と応用能力
③	管理能力
④	アドバイス能力
⑤	指導力、コーディネーション能力

**問題－３ （防犯の理論） 解答例**

①	犯罪を実行に際して要する費用に見合った十分な見返りがあるか。
②	逮捕され有罪となる確率は低いか。
③	刑罰に見合う成果が得られるか。

**問題－４ （防犯対策の考え方） 解答例**

領域の種類	説明
公共領域	道路、公園及び公開空地などの公共空間で、人の行動を制約できない領域
半公共領域	敷地内ではあるが公共領域から容易に入ることのできる領域
半私的領域	原則入域を拒否するが、その程度は緩く関係者以外にも入域が可能な領域
私的領域	社員など限られた人のみ入館・入室など入域できる領域

問題－5 (防犯対策の構築)

解答例

実 態	対 策
人垣をつくり一人が万引き	防犯カメラやミラーを設置し死角を無くす
おとりを使つての万引き	出入り口に万引き防止装置を設置する
店内を徘徊しての万引き	監視している方向が判らないドームカメラを設置する
従業員の目の届かないところでの万引き	試着できる商品に自鳴式タグを取り付ける
道具を使つての万引き	陳列商品をセンサーケーブル式警報器で係り止めする 係り止め出来ない高額商品はショウケースに入れるか、自鳴式タグを取り付ける

注：上記以外の記載でも内容が適切であれば正解とする。

問題－6 (防犯設備の設計)

解答例

撮影対象場所	通達や条例で指定されている場所、犯罪が発生しやすいと思われる場所、防犯診断の結果脆弱であると思われる場所、それ以外にもカメラによる記録が必要な箇所などを対象とする
設置場所	撮影対象が的確に撮影でき、撮影に対する妨害やカメラへの破壊工作などにも十分配慮して設置する
撮影目的と画角の選定	日本防犯設備協会の画角の選定に準拠し撮影目的に合った画角を選択する
防犯カメラの選定	全ての防犯カメラはRBSS 共通機能を満足する能力を有することが望ましい 暗い場所や逆光状態への対応、妨害工作への対応など必要な機能を備えたものとする 撮影場所の照度や求める解像度などを満足する性能を有したものとする
デジタルレコーダーの選定	撮影目的を実現できる記録レート、記録する画質と画像サイズ及び記録時間など実現できる機能・性能を有したものとする

問題－7 (総合防犯監査)

解答例

	総合防犯監査	防犯審査
目的	防犯対策を総合的に点検・評価	審査基準に対する適合性の判定
評価項目	監査人が選定した項目を評価	審査基準に定められた項目を評価
対象範囲	対象とするリスク及びリソースを総合防犯監査計画などで定める	審査基準に定められた対象に限定
担当者〈実施者〉	監査対象組織から独立かつ客観的立場の監査人	審査基準などに定められた資格などを保有する審査人
実施時期	定期的及び随時	審査基準の設定・改定時。 対象物件の認定資格取得時・新築・増改築時など

**問題－８（総合防犯監査と防犯コンサルティング） 解答例**

例： 監査の目的と活用についてわかりやすく説明すること
被面談者のおかれている状況を理解すること
警戒心を持たれないよう配慮すること
被面談者の共感を得るよう振る舞うこと
高圧的な言動を避け、好感を与える言葉使いや態度で接すること
毅然とした態度で接すること

注：上記５項目の内から４項目、ただし、解答の順序は問わない。

**問題－９（総合防犯１） 解答例**

	ヒューマンスキル
①	現状認識力
②	現状分析力
③	本質的課題を見抜く洞察力
④	防犯対策の構想力
⑤	聞き上手なコミュニケーション力
⑥	チームを正しい方向に導くリーダーシップ
⑦	メンバー全員の力を結集できるマネジメント力

**問題－１０（総合防犯２） 解答例**

	サイバー犯罪の特性
①	匿名性が高い
②	犯罪の痕跡が残りにくい
③	不特定多数者への被害
④	ログ消去等による証拠の隠滅
⑤	時間的、場所的制約がない
⑥	暗号による証拠の隠蔽